

令和 6 年度 ふるさと納税使い道 実績

令和 6 年度寄附総額：19,953,000円

ワサビ田再生事業

(活用メニュー：森と水と川を守る事業)

かつて県内生産一位を誇った小菅村のワサビ栽培を次世代に継承するため、ワサビ田の再生事業に取り組んでおります。

令和6年度は、耕作放棄地だった山沢入地区のワサビ田の復旧工事を行いました。

実際に復旧したワサビ田を活用し、企業研修やワサビ植え体験などの取り組みも行っています。



令和のやまなし教育活動モデル推進事業 (活用メニュー：未来の子どもたちを育てる事業)

本村の子供が故郷小菅村の豊かな地域資源にふれる機会を設定することで、子供の郷土愛が醸成されることなどを目指して、村内の木材資源の利活用について学ぶ活動や、村内河川で沢登りをしながら源流域付近の動植物について学ぶ活動などを行いました。



公営塾運営事業

（活用メニュー：未来の子どもたちを育てる事業）

子供が安心できる放課後の居場所づくりを目指して、毎週月曜日及び水曜日、小菅村公営塾（通称：すたすたスクール）を開催しています。

公営塾では、学校の宿題やプリントで学習をしたり、軽スポーツやミニゲームなどのレクリエーションを行ったりします。

また、月に一回、村内散策や創作活動等のお楽しみ会を行っています。



源流まつり実施費用 (活用メニュー：村長おまかせメニュー)

新型コロナウイルスの影響により中止になっていた「多摩源流まつり」を5年ぶりに開催しました。

小菅村は、「多摩源流」をキーワードとした村づくりを行っており、多摩源流まつりはまさにその象徴として1987年に始まった一大イベントです。

今回は久しぶりの開催ではありますが、約6,000人の方に来場していただき、大盛況となりました。



寄附者の皆様へ

小菅村という人口約620人の小さな村へ、多大なるご寄附をいただき誠にありがとうございます。皆様からの寄附は、本村をより良くするために大切に活用させていただいております。

人口減少・少子高齢化が進んでいる小菅村では、ふるさと納税による皆様からの寄附がなくてはならないものとなっております。ふるさと納税担当者としては、魅力的で小菅村らしい返礼品や、寄附金の有効活用を通して皆様へ最大限の還元ができるよう努めてまいりたいと思います。

今後とも応援をどうぞよろしくお願いいたします。

